

会議録

会 議 名	平成 28 年度 第 1 回 八王子市高齢者あんしん相談センター運営部会
日 時	平成 28 年 5 月 20 日 (金) 午前 9 時 30 分～11 時 30 分
場 所	八王子市役所 本庁舎事務棟 7 階 702 会議室
出 席 委 員	和氣純子会長、山内秀史副会長、小池公江委員、日高絢子委員、平川博之委員、村上正人委員、大久保孝彦委員、栗野洋子委員、田中泰慶委員、小新井妙子委員、吉澤努委員
出席臨時委員	
オブザーバー	(高齢者あんしん相談センター中野) 渡邊センター長、(高齢者あんしん相談センター南大沢) 森島センター長、(高齢者あんしん相談センターめじろ) 中村センター長、(高齢者あんしん相談センター長沼) 菅原センター長
関 連 部 署 説 明 員	福祉部長 豊田、高齢者いきいき課長 元木、介護保険課長 横溝
説 明 者	社会福祉協議会 尾崎
事 務 局	高齢者福祉課長 溝部、高齢者福祉主査 半田・辻野、高齢者福祉主事 渡邊
欠 席 者	地域医療政策課長 高橋
公開・非公開 の 別	「一部非公開」
傍 聴 人 の 数	「なし」
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 報告</p> <p>(1) 平成 28 年度高齢者あんしん相談センター事業計画について</p> <p>(2) 平成 28 年度高齢者あんしん相談センター関係予算及び委託契約について</p> <p>(3) 高齢者あんしん相談センター高尾の移転について</p> <p>(4) 平成 28 年度基幹型地域包括支援センターとしての取り組み・機能について</p> <p>3 その他事務連絡</p> <p>(1) 八王子市地域ケア会議実施報告書(個別ケア会議)について</p> <p>(2) 平成 28 年度生活支援体制整備事業における活動計画について</p> <p>4 議題(非公開)</p> <p>センター恩方開設に伴う受託業者公募の日程及び要項等について</p> <p>5 閉会</p>

配 付 資 料 名	名簿
	資料
	1 平成 28 年度高齢者あんしん相談センター事業計画書
	2-1 センター恩方開設に伴う受託業者公募の日程について
	2-2 八王子市地域包括支援センター恩方 受託法人公募要項（案）
	2-3 八王子市地域包括支援センター恩方 受託候補者の審査要領（案）
	3-1 平成 28 年度高齢者あんしん相談センター委託料内訳
	3-2 平成 28 年度八王子市包括的支援事業等実施方針
	4 「高齢者あんしん相談センター高尾」の移転について
	5 平成 28 年度基幹型地域包括支援センターとしての取り組み・機能について
	6 八王子市地域ケア会議実施報告書（個別ケア会議）
	7 平成 28 年度生活支援体制整備事業における活動計画
	7-2 八王子市生活支援体制整備事業推進体制
	7-3 生活支援体制整備事業 平成 28 年度事業実施計画書
意見書	

1 開会

- 【高齢者福祉課主査】 平成28年度第1回高齢者あんしん相談センター運営部会を開催する。
- 【高齢者福祉課主査】 今年度4月の人事異動に伴う、事務局からの自己紹介を行う。
転入者挨拶。
- 【高齢者福祉課主査】 続いて本日の高齢者あんしん相談センターオブザーバー参加は、高齢者あんしん相談センター中野の渡邊センター長、センター南大沢の森島センター長、センターめじろの中村センター長、センター長沼の菅原センター長。
センター長挨拶。
- 【高齢者福祉課主査】 今年度4月1日より、社会福祉法人八王子市社会福祉協議会に委託している第2層生活支援コーディネーターの職員の自己紹介を行う。
- 【社会福祉協議会】 6圏域に1名の配置となっている。本日は2名欠席である。社会福祉協議会内に知育福祉推進担当とボランティア活動推進担当を新設し、体制を強化した。包括と連携し円滑に事業を進めていきたい。北部担当は石川の地域福祉推進拠点に常駐する。その他の職員はボランティアセンターを一部改装し執務する。
第2層生活支援コーディネーター挨拶
- 【和氣会長】 いずれ拠点をつくり、そこで執務か。
- 【社会福祉協議会】 そうなる。
- 【高齢者福祉課主査】 配布資料確認。
本部会は原則公開とする。今回についても公開としてよろしいか。
- 【全員】 異議なし。
- 【高齢者福祉課主査】 なお、【議題4：センター恩方開設に伴う受託業者公募の日程及び要項等について】に関しては非公開案件とする。そのため資料2-1から2-3については、本部会終了後に事務局へ返却願う。それでは、報告に入る。ここからの進行は、本部会運営要綱第4条に基づき、会長にお願いすることになる。和氣会長にお願いする。

2 報告

- 【報告(1)：平成28年度高齢者あんしん相談センター事業計画について】
- 【和氣会長】 次第に沿って進める。【報告(1)：平成29年度高齢者あんしん相談センターの事業計画について】事務局から説明をお願いする。
- 【高齢者福祉課長】 前年の評価を元に今年度の事業計画を市の仕様書に基づき項目ごとに各センターで作成した。各センターの特徴的な好取組を紹介する。総合相談支援業務の保険外サービスの表を作成し、職員間で共有している。権利擁護業務の外部事業者向けの研修、包括向けの研修、市民向けの講座等を実施。在宅医療介護連携の中でセンター紹介カードの作成。認知症施策の推進の認知症サポーター養成講座では学生向けも拡充している。認知症サポーターフォローアップ研修の開始。地域ケア会議の開催では、他職種相談会の実施行っているほか、法律関係のトラブルのニーズあり対応した会議を開催している。介護予防普及啓発事業では大学との連携の開始。その他特徴的な取組では、広報誌の発行などに力を入れている。具体的には、外国語版や職員の顔写真を掲載したチラシ、業務内容や事業の成果を周知するもの等がある。こうした取り組みを事業所と市民にアピールしていく。

- 【和氣会長】 内容について質問・意見等あるか。
- 【田中委員】 認サポの養成講座は学校で開催しているのか。中学校もか。
- 【高齢者福祉課長】 全学校ではないが個別に依頼があれば中学2年生の授業も対応している。高校や大学も個別調整のうえ実施している。
- 【山内委員】 歯科医の口腔ケアの冊子内容がすごくよかった。もとはち南だけではなく他の包括圏域でも配れないか。
- 【平川委員】 大丈夫。
- 【高齢者福祉課長】 了解した。各センターに紹介する。
- 【和氣会長】 外国人からの高齢者ケアについて相談は実際どの位あるか。地域性にもよると思う。
- 【菅原センター長】 地域性あるが、長沼では非常に稀である。旭町は駅前にあるので今検討されている英語版だけでなく他言語も検討されかなり地域が高い。
- 【森島センター長】 中国の方がいるが、市の通訳に依頼した。
- 【渡邊センター長】 中国の方がいたが、ご主人が通訳していたので通訳を依頼せずいた。能力のある職員がいなく必要性を持たなかった。特に作成もしてない。
- 【中村センター長】 稀だが相談の家族がブラジル人なので英語のできる職員が片言で対応している。韓国人からの相談がある。頻度は少ない。別件だがデイサービス通う時に外国語が喋れる人いるかという問い合わせがあった。センターで中々対応出来ず、必要性を感じた。
- 【和氣会長】 以前中国残留孤児を支援している政府と仕事したことがあり中国語で介護保険制度の説明の話をしたことがある。中国語のできるサポート者はいる。または孤児本人ではないが中国の方はいる。大学にも留学生がいるので連携できるのではないかと思われる。
- 【和氣会長】 他に意見・質問等あるか。それでは、【報告(1):平成29年度高齢者あんしん相談センターの事業計画について】は以上。よろしいか。
- 【報告(2):平成28年度高齢者あんしん相談センター関係予算及び委託契約について】
- 【和氣会長】 【報告(2):平成28年度高齢者あんしん相談センター関係予算及び委託契約について】事務局から説明をお願いします。
- 【高齢者福祉課長】 資料3-1については平成28年度のセンターの委託料である。主な変更点については高齢者人口に基づいて職員数の変更があった。左入、中野、堀之内の3センターが0.5人増。新たに追加した項目としては、地域ケア会議の事業費に100万ずつ委託料計上した。体制整備のため予算をつけた。
- 続いて資料3-2について説明する。平成28年度の包括的支援事業等実施方針である。今年度は特に、包括的・継続的ケアマネジメント支援のうち、アの地域の介護支援専門員等と情報共有を図り、ネットワークを構築するという項目について積極的に取り組みたい。
- 【和氣会長】 内容について質問・意見等あるか。
- 【田中委員】 委託料の内訳の中で広域加算の基準とは。
- 【高齢者福祉課主査】 一つの圏域ごとの面積を算出し面積の平均を出す。面積の平均より大きい時に加算している。高尾・左入・川口・元八王子。一つ一つの圏域の平均より大きい地域についている。

- 【田中委員】 広域加算は面積だけで出してよいものなのか。高齢者人口の多い所は面積だけでなく頻度の問題もあるので考慮してあげたほうがよいと思う。
- 【高齢者福祉課主査】 車の燃料費も考慮した。職員数を換算する時に高齢者人口によって割り出している。一人暮らし世帯数、生活保護の受給、認定率の高さを基準人員加算時に係数を上乘せして人数を算出している。人口の方は人員のほうでカバーしている。
- 【田中委員】 圏域によって委託料に不公平感がでないようにしたほうがよい、配慮を願う。
- 【高齢者福祉課主査】 了解した。
- 【和氣会長】 機械警備とは何か。
- 【高齢者福祉課主査】 センターで設置した機械警備装置のこと。装置がある所は一律の金額で委託料に加算している。ついていないセンターは市の施設を利用している。ついていない場所は加算ない。
- 【田中委員】 確かについていない所は、市施設を利用している。
- 【和氣会長】 ケア会議は、今まででも運営しているが今年度は整える形だと思う。開催頻度や開催形態、中身は各センターに任されているのか。市のガイドラインやフォーマットを見た。
- 【高齢者福祉課長】 全センター合わせ年 100 回を実施予定。頻度や内容は各センターの必要に応じる。地域ケア会議の在り方をセンターと相談しているが、地域ケア推進会議を 10 月の部会で開催する予定。報告書があがった段階で意見交換しながら考えていきたい。
- 【和氣会長】 センター長からも委託料等何か発言ないか。
- 【菅原センター長】 不安要素はある。指定介護予防支援事業所との兼ね合いや、認定調査に不安がある。認定調査の受ける量の変化について不安。
- 【介護保険課長】 総合事業の検討をしながらガイドプランを作成している。お互いに不安要素がある。本日午後も検討会がある。
- 【高齢者福祉課長】 横這いをお願いするスタンス。今年度は検討していく年度。段階では動きはあると思うが大きな変化はない。
- 【森島センター長】 個別ケア会議、個別課題、地域課題を検討する会議の曖昧さがあったが、平成 28 年度から報告書の記入の仕方を変更した。今後も市と相談しながら充実させていきたい。
- 【渡邊センター長】 中野では生保の一人暮らしの人が多いとの事で人員を 0.5 増やしてもらったが、職員の採用が追いつかないのが悩み。
- 【中村センター長】 今回、各センターの計画を確認し、地道に活動し地域の事を考えている工夫や努力を感じた。八王子市で声掛けし協力してもらっている。なかなかスーパーや商店街には受け入れてもらえない。強制的になるのは嫌なので、バックアップとしては、市職員が参加すると会議の空気も変わる。地域活動のところで支援していきたい。
- 【和氣会長】 職員確保は以前からの問題、保健師の採用は引き続き広報等に掲載するなど市のバックアップを依頼する。
- 【高齢者福祉課長】 地域ケア会議への職員の参加や、地域のイベント等連携していきたい。
- 【和氣会長】 他に意見・質問等あるか。それでは、【報告(2):平成 28 年度高齢者あんしん相談センター関係予算及び委託契約について】は以上。よろしいか。

【報告(3)：高齢者あんしん相談センター高尾の移転について】

【和気会長】 【報告(3)：高齢者あんしん相談センター高尾の移転について】事務局から説明をお願いします。

【高齢者福祉課長】 平成28年度の予算審議が行われ、今年度高齢者あんしん相談センター高尾を東浅川保健福祉センターへ移転する。内装工事等これから取りかかり、6月内装工事、7月1日開所。

周知方法は広報、ホームページ、関係団体、市民に丁寧に説明する。圏域の変更はなし。保健福祉センターとの事業のコラボレーションが期待できる。連携を取りながら今後の事業展開を良くしていきたい。

【和気会長】 面積も広くなり、駐車場もあるので、市民にとっては便利になる。落ち着いたら希望者だけでも訪問したい。

【高齢者福祉課長】 了解した。後ほど案内する。

【和気会長】 内容について質問・意見等あるか。

【和気会長】 他に意見・質問等あるか。それでは、【報告(3)：高齢者あんしん相談センター高尾の移転について】は以上。よろしいか。

【報告(4)：平成28年度基幹型地域包括支援センターとしての取り組み・機能について】

【和気会長】 【報告(4)：平成28年度基幹型地域包括支援センターとしての取り組み・機能について】事務局から説明をお願いします。

【高齢者福祉課長】 現在は市が機能を担っている。東京都が機能強化型地域包括支援センター設置促進事業を行っている。資料に沿って説明。目的として各包括の総合支援を行い、全体のレベルアップを図る。統合調整では定例会などで情報交換意見交換を行う。定例会は毎月1回。受託法人連絡会を年3回。認知症施策推進プロジェクト会議毎月2回開催。前年2月より各包括に認知症地域支援推進員を1名配置。今取り組んでいるのが認知症ケアパスの作成、認知症初期集中支援チームの配置など。虐待などでは訪問やケース会議、他の部署との連携会議、成年後見の連携を実施。市が介入する案件については包括との連携を取り組む。市とセンターの役割分担を明確にし、情報共有をする。地域包括支援ネットワークの構築支援。地域ケア会議の開催支援。人材育成支援として各センターの職員のレベルアップを図る。虐待防止研修の実施。認知症地域支援推進員の研修。新総合事業について包括との研修。情報セキュリティ研修、接遇研修、介護離職の研修を予定している。

【和気会長】 内容について質問・意見等あるか。

【小新井委員】 介護離職に関する説明会とは。

【高齢者福祉課長】 内容の調整によるが、介護離職の相談を対応するには法律的知識も関わってくる。多岐に渡り課題があると思う。専門的な相談に対応できるよう研修を行っていききたい。

【小新井委員】 仕組み作りか。

【高齢者福祉課長】 はい。説明会という表現か、研修会という表現か、どちらが良いかと悩んでいる。

【高齢者福祉課主査】 研修なのか、説明になるのか未定。今回は説明会と案内している。

【小新井委員】 対象者は誰か。

- 【高年齢者福祉課主査】 センターの職員が対象となる。
- 【小新井委員】 センターの職員が介護離職に関する相談を受ける窓口になるということか。介護離職は介護のために仕事を辞めなければいけない人のこと。
- 【高年齢者福祉課主査】 センターが窓口になる可能性があるので知識を持ってもらいたいとの事で企画している。各施設や事業所のヘルパー、介護職員が包括に習いたいという事もありうらと思う。
- 【平川委員】 育児休暇や休養とは全く違う。しっかり説明しなければいけないと思う。十分研修する意味があると思う。育児は母が子に寄り添う事だが介護はどうやって寄り添わないでいられるか。育児とは逆。休むことによって自分が親の介護をしなければいけないと思うとびっくりすると思う。東大の佐藤教授はいい資料を持っている。
- 【田中委員】 基幹型地域包括支援センターのあり方がまだ明確になっていない。聞かされていない。文言にこだわるようだが、どういう形で基幹型をつくるのか。市が介入する案件について違和感がある。福祉課が介入するのか、どういう形で基幹型を作り、機能するのか知りたい。
- 【高年齢者福祉課長】 センターという箱物は作らない。やるべき機能は高年齢者福祉課が中心になっていく。基幹型の役割は市がやっていく。
- 【田中委員】 市のやること、基幹型がやること、線引きがあるのか。
- 【高年齢者福祉課長】 市がやりきれないような基幹型センターであれば議論が必要になる。
- 【和氣会長】 長年議論している。委員も主張している。高年齢者福祉課が基幹型役割になる。一時看板も設置するか議論したがつけなくて収まった。箱物として作らない。福祉課は基幹型以外の対応もしているので線引き出来ないでいる。
- 【田中委員】 市が介入、この介入がよくわからない。役割の明確化がわからない。
- 【平川委員】 僕は諦めている。まず、どちらが上とかはない。形とか別にいいと思う。包括は経験もあり力をつけている。
- 【田中委員】 どういう関わりをするのかが気になる。
- 【高年齢者福祉課長】 介入という表現ではなく連携とかの方がよい。
- 【和氣会長】 図がある方がわかりやすい。基幹型の全体のコーディネート機能が期待されている。高度な連携と上下一方的な関係だけではなく横の連携も含めて言葉の問題など来年の説明時に工夫していただくということによろしいか。
- 【高年齢者福祉課長】 各包括とプロジェクトメンバーで今も話しあっている。煮詰まっていないところを決めていきたいと思う。
- 【平川委員】 認知症ケアパスとは。
- 【高年齢者福祉課長】 ケアパスについては、認知症の各ステージにあわせた支援の内容を一冊にまとめた冊子。推進員の会議体をつくり素案を作っているところ、南多摩病院、平川病院にも参加してもらっている。医療の意見を入れていく必要性など、認知症支援ネットワーク会議にもはかっている。今年度完成目指している。

【平川委員】 認知症のケアパスを作成しなければいけない中で、認知症の様々な経過の中で相談や医療や介護や法的な支援がついて回る。タイムスケジュール年表を作成しなければいけない。推進員だけでやるのは荷が重いのかと。認知症支援ネットワーク会議がまったく最近開かれていない。総力戦で皆が納得したもの作らなければならない。専門職や市民が納得するか。素案作成に推進員だけだと心配。平川病院も最初入ってなかったと聞く。絵に描いたものではケアパスとして機能しない。八王子のケアパスは機能を果たして、認知症と診断された方には声掛けするなど、丁寧をお願いしたい。

【高齢者福祉課長】 医師の意見も必要。ある程度素案を作成した中で作らないと作成できない。形のない中で相談できない。

【平川委員】 医師だけでなくみんなを呼んでやらないといけない。

【和氣会長】 現在認知症推進会議はどうなっているか。

【高齢者福祉課長】 認知症ネットワーク推進会議は今年度3回程度開催する必要性を感じている。認知症 SOS ネットワーク構築、ケアパスの作成が展開してくるので各方面の代表者の方に意見を求めたいと思う。

【和氣会長】 事務局は高齢者福祉課か。推進会議のメンバーと一緒に多くの方々が参加できると思うので連携して進めて頂きたい。

【平川委員】 そのとおり。

【小池委員】 ケアパスについてそれを持っていると、症状や検査項目など全てわかるようなものだといいなと思った。

【和氣会長】 市民が使いやすいものということか。他の自治体にないようなものを作りたい。

【高齢者福祉課長】 連携ケアパス、認知症ケアパス全く内容が違う。圏域によって変わる。

【平川委員】 熊本県のくまもん手帳がよい。

【和氣会長】 ネットワーク推進会議との連携のうえ進めてほしい。

【村上委員】 二層のコーディネーターについて、社協に丸投げになっているので基幹型に盛りこんだらどうか。

【高齢者福祉課長】 基幹型の機能の中にか。

【村上委員】 社協に丸投げするといつの間にか社協の事業になる可能性があるのかと思い発言した。

【高齢者福祉課長】 包括との絡みもあるので考える。

【和氣会長】 具体的には。

【高齢者福祉課長】 地域ケア会議についても生活支援協議体も運営部会で開く予定にしている。

【和氣会長】 今年度、来年度あたりに重点的に連携の在り方を検討する必要がある。他に意見・質問等あるか。それでは、【報告（4）：平成28年度基幹型地域包括支援センターとしての取り組み・機能について】は以上。よろしいか。

3 その他事務連絡

【その他事務連絡（1）：八王子市地域ケア会議実施報告書（個別ケア会議）について】

【和氣会長】 【その他事務連絡（1）：八王子市地域ケア会議実施報告書（個別ケア会議）について】事務局から説明をお願いします。

【高齢者福祉課長】 書式を示すため、ここに出した。個別ケア会議専用のもとなる。政策編成や地域課題等は別途用意してある。書式について何かあれば連絡願う。

- 【和氣会長】 包括の了承済か。
- 【高齢者福祉課長】 はい。
- 【和氣会長】 今まで報告求めていなかったのか。
- 【高齢者福祉課主査】 別の形で報告書の提出あった。
- 【和氣会長】 どの辺りが変化したのか。
- 【高齢者福祉課主査】 今後の課題等など何を議論すべきか明確に示した。
- 【和氣会長】 内容について質問・意見等あるか。
- 【和氣会長】 他に意見・質問等あるか。それでは、【その他事務連絡（1）：八王子市地域ケア会議実施報告書（個別ケア会議）について】は以上。よろしいか。
- 【その他事務連絡（2）：平成28年度生活支援体制整備事業における活動計画について】
- 【和氣会長】 【その他事務連絡（2）：平成28年度生活支援体制整備事業における活動計画について】事務局から説明をお願いします。
- 【高齢者福祉課長】 市で第1層生活支援コーディネーターを配置。今年度より第2層生活支援コーディネーターを社協で設置。活動の視点で1層2層と役割が異なる。1層は4月に2層の研修を4日間実施。庁内関係機関との研究会開始。大学との地域作り活動の調整。5月に地域資源マップ作成の検討中。2層は4・5月に担当地域の資源、人材の把握。6月で中間取りまとめ。7月に2層協議体を6圏域で開催。8月1層の活動の中間取りまとめ。2層は地域ニーズの調査開始。10月に1層協議体開催し、年度前半の活動実績報告を行う。半期毎で活動内容を報告。11月に2層の地域ニーズ調査取りまとめ。12月に2層協議体開催、1層圏域における調査取りまとめ。2月に1層の協議体開催し年度後半の活動実績報告を予定。本事業は委託である。生活支援協議体の開催もしていく。2層も年2回実施。関係機関との情報交流連携体制の構築。各機関とのネットワーク構を築函る。サロン支援からの連携を広げる。各圏域における地域資源における課題の把握。社会資源把握シート、アセスメント基礎情報シート、既存のツールをうまく活用し、全市的に共有し目に見えるものにしていく。担い手の発掘、養成、仕組みの検討、構築。研修の実施。地域の団体に向けた啓発活動。地域づくり。コミュニティカフェの設置。地域福祉活動の新設。数年で6圏域に広げる。
- 【小池委員】 お年寄りの方を対象に面接している。具体的に掃除とか積極的にボランティアやりたいという人がいる、年齢制限や制約があると話進められない。
- 【高齢者福祉課長】 ボランティアしたい方は紹介して頂きたい。基本はボランティアセンターが窓口になる。年齢制限はないと聞いている。
- 【和氣会長】 ボランティアセンターのチラシとかがないと、なかなか到着できない。研修も必要かもしれないので、民生委員と協力していると思うがチラシを作成しないと口頭だけでは厳しい。場所や問い合わせ先などわからないとだめ。
- 【小池委員】 ボランティアセンターに登録してくれと案内している。登録してどこにでもではなく、この事業に対して協力してもらいたい気持ちがある。
- 【和氣会長】 この事業に対しては2層のコーディネーターに連絡してもらおうとどうか。同じことになるのかもしれないが。
- 【高齢者福祉課長】 どういった形が良いか。

- 【和氣会長】 このプロジェクトも色々なボランティアをコーディネートする事業。この事業だけとはいわないが。
- 【村上委員】 地域の有志で公園の掃除を行なうなど、月一回何かをしている小さなボランティアがある。2層のコーディネーターが地域ごとにやれることを沢山把握して選択肢を並べて参加したい人に提供するシステムがよいのでは。自発的に参加してもらえるように情報を提供する。総合的に考えると地域包括ケアを一つの部署が作るのは難しい。組織改正にむけて流れを出すべき。
- 【福祉部長】 地域福祉拠点にコーディネーターを配置予定。地域福祉という切り口で進めたい。
- 【和氣会長】 小池委員の質問だと、今まではボランティアやりたい人はボランティアセンターへという形だったが、潜在的な方も直接つなぐような積極的なアプローチはないのか。
- 【高齢者福祉課長】 情報を集め、地域で考えていく。ボランティアをやりたい方の掘り起し大事。
- 【福祉部長】 楽しい方がお互い良い。2層のコーディネーターと関係性を築き、地域福祉拠点の職員とのコラボになる、社協と話しあっていく。
- 【平川委員】 大事な意見だと思う。貴重な人材となり、自身の参加で介護予防にもなる。データベースで出るようにして、漫然とならないように。成功すれば要介護認定者の減少や地域向上につながる。八王子の価値があがる。
- 【福祉部長】 高齢者も子供も大きな地域ケア福祉という観点で推進していく。
- 【田中委員】 町会・自治会との連携が難しいと思う。温度差がある、どうアプローチをして協議体に参加してもらい、作り上げていくか。現状が分かれば教えてほしい。
- 【高齢者福祉課長】 まだ白紙、よいアドバイスがあれば願いたい。
- 【田中委員】 去年11月位に説明してもタイムラグあると何だ？ということになる。常にアプローチが必要。大変だけど考えてほしい。町会・自治会がどの程度集まるのか地域としての課題が見えてこないのではないか。
- 【高齢者福祉課長】 まだ過渡的。工夫していく。やり方含めて意見を頂きたい。
- 【田中委員】 問題あればこちらでもアプローチできる。
- 【小池委員】 民生委員と町会と密接な関係にある。お年寄りの方の災害時援助の仕方について、全然把握していない町会もある。民生委員へ質問されるが答えられない。9町会あるが要求を町会長に話してもバラバラで統一取れない。緊急の援助の仕方について話し合えない。平等とか難しいと思う。
- 【田中委員】 積極的にアプローチすることの繰り返し。コーディネーターが活かない。
- 【和氣会長】 均一にはならないが、周知活動と協力体制の構築、呼びかけが必要。様々なアプローチについて工夫が必要。
- 【大久保委員】 具体的には2層の協議体の開催はどのような準備されているか。
- 【高齢者福祉課長】 資料のとおり。これから進めていく。
- 【和氣会長】 他に意見・質問等あるか。それでは、【その他事務連絡(2)：平成28年度生活支援体制整備事業における活動計画について】は以上。よろしいか。

4 議題（非公開）

【議題：センター恩方開設に伴う受託業者公募の日程及び要項等について】

5 閉会

【高齢者福祉課主査】 本日の会議の中で、言い忘れた点、言い足りなかった点あるようなら、配布済の意見書にて、5月27日金曜日までに意見をお寄せ頂きたい。

それでは、以上をもって、本日の会議は終了させていただく。大横と高尾の視察、改めて案内する。

会議録署名人 _____ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 署名